

左近山中だより

令和2年 6月1日
横浜市立左近山中学校
校長 福田 有志
No. 2

「自他一如(じたいちにょ)」

副校長 羽山 悟

ピンクの桜の花がきれいだった春から、雨の多い梅雨のうっとうしい時期へ、そして、太陽が眩しい夏へと移りゆく季節の中、生徒のいない学校は時間が止まったようで、いつもよりとても長く感じられます。4, 5月の緊急事態宣言の延長を受けて休業が続くことになりましたが、非日常の生活の中、何かと考えるなければならないことが多く自分たちへ押し掛かってきたことと思います。

こんな時だからこそ思い浮かぶ四字熟語に、自分と他人とはそもそもひとつといった意味の「自他一如」という言葉があります。自分と関係のない命はこの世に存在しないという考えです。このコロナ禍の中で、あっという間に世界中に感染がひろまったウイルス、「自分には関係ない。」などと考えていることは決してできないと再確認させられた衝撃的な状況です。今、私たちは昔から言われている「持ちつ持たれつ」を良い意味で認識し、自らができることをお互い努力し協力し合って生活していくこと。そして、他人の痛みを自分の痛み、他人の喜びも自分の喜びであると考え、この状況下を乗り越えていくべきであると思います。私は「共生」という言葉をあらためて感じています。今回の休業の期間、平常な生活とはかけ離れて我慢を強いられている中で、みなさんは自分なりの新しい生活スタイルや思いを考えることが多々あったのではないのでしょうか。

先日、友人からの電話で、「人と話をするとほっとするね。」という言葉がありました。まだ、様々な制限はありますが、人と関わることの大切さや会話することによる癒しを感じる機会があると考えています。

さて、学校はというと、休業の延長に伴って夏休み前の行事の日程や授業の方法、時程も大きく変更していくことが予想されます。ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

緊急事態宣言の影響は多々ありますが、本校では、学校再開と同時に保護者や地域の皆様に協力していただきながら、あらゆる場面で生徒の笑顔が見受けられるよう、全職員をあげて取り組んでいきたいと思っております。

また、何より新型コロナウイルス感染症の流行が終息することを願っています。保護者や地域の皆様もお体にはご自愛ください。



感染症予防、拡大防止対策としてお願い

『学校再開に関するガイドライン』に沿って対応をしていきます。

- 健康観察 **毎日必ず検温**し、健康観察票に記入して登校してください。
発熱や息苦しさ、だるさ、頭痛、咳などの症状がある場合は登校を見合わせ、自宅休養をしてください。
 - 3密（密集、密閉、密接）を避け、ソーシャルディスタンスを確保するため、様々な場面を想定し、工夫をしながら対応していきます。
 - マスクの着用 登校時より着用してください。汚れたり、忘れたりした時のため予備マスクをかばんに入れておいてください。
 - 手洗いの徹底 液体せっけんと流水でこまめな手洗いを呼びかけます。
 - 換気 天候等に配慮しながら、できる限り常時換気をしていきます。防寒着を含め衣服の調整をしていきましょう。
- ★定期健康診断（身体計測含む）は学校医と相談し、12月末までに実施となります。
詳細は保健だよりでお知らせします。 養護教諭

いよいよ学校再開！

いよいよ学校再開にあたり日常生活に近づいた楽しみや今後への期待、それと同時に様々な不安も起き始めていると思います。生徒、保護者、地域の方々、私たち職員も同じ思いです。学校では、再会と同時に生徒一人ひとりと教育相談活動を行ってまいります。ようやく再開した新学期への期待と3か月の状況や今後の不安など、学習面のみでなく生活面も含め、ご家庭と共に考えながら丁寧に歩んでいきたいと考えています。感染防止の観点からも3密（密集、密接、密閉）には注意しながら進めていきます。また、ご家庭でもお子様のことで心配な点やご相談があれば、学校に相談していただくか、スクールカウンセラーもご活用下さい。 生徒指導専任

学校電話 045-351-7712

スクールカウンセラー相談予約専用電話 045-351-7940

スクールカウンセラー学校訪問日 水曜日

休業中の学校の様子を介绍!

「ワックスで学校中がピッカピカ☆」

技術員さんに校内中をワックスで磨いてもらいました。渡り廊下や教室前もピッカピカです。気持ちの良い学校生活が送れます。



「学校の外に目を向けると・・・」

こどもの成長を祈った色とりどりのこいのぼりが第3集会場の空をおよいでいました。

